

福岡県篠栗町

ませぐり

議会だより

No. 186

白龍旗争奪中学生選抜剣道大会



平成27年12月議会号

12月定例会 2

庁舎レイアウト変わる 2

委員会研修報告 4

ここをどうする!?(5人が一般質問) ... 8

12月定例会

12月3日から11日まで、9日間の会期で開催しました。総務建設・文教厚生各常任委員会および予算特別委員会において、町長の提案の条例案や補正予算案など、計11議案を審査しました。また最終日の本会議にて、すべての議案が原案のとおり可決されました。各議案に対する賛否一覧をページに掲載しています。

1月から庁舎のレイアウトが変わりました。マイナンバーに関する手続き、住民票や所得証明書の発行、国民健康保険加入、納税相談などの各課での手続きが1階でできるようになりました。



特別会計を設置

篠栗北地区産業団地整備事業

九大演習林の一部を購入した町有地において、篠栗北地区産業団地を整備するにあたり、事業の円滑な運営、経理の適正を図るため、篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計を設置した。

問 特別会計を設置するのは、会計上どのような意味があるか。

答 一般会計の予算額が、一時的に突出したかたちになるのを防ぎ、事業にかかる金額を明確にする効果がある。

課の体制を変更、

収納課を新設

課設置条例を改正

新たな行政課題や多様化する住民ニーズに即応し、住民満足度の高い行政サービスの提供が可能な組織とするため、課の体制を変更した。

主なものは、町の債権管理徴収事務を新設する収納課に一元化し、こども育成課を教育委員会部局へ異動。また、財産管理事務を財政課から総務課へ移管する。

(平成28年4月1日から施行)

町の債権を一元管理

債権管理条例を制定

収納課の新設に伴い、収納業務が一元化されるにあたり、これまで各所管課で管理してきた債権も一元管理する必要があるため、篠栗町債権管理条例を制定した。

庁舎新レイアウト



これにより、これまで各課で分かれていた町税、国保税、保険料、保育料、使用料等の管理が、一つの窓口に集約される。

(平成28年4月1日から施行)

附属機関に関する条例の改正

これまで福岡県介護保険広域連合に報告していた事務を各自自治体にて行うことになったため、附属機関として「篠栗町地域包括支援センター運営協議会」を追加し、本条例の一部を改正するもの。

問 協議会の構成は。

答 介護保険被保険者、保険・福祉及び医療関係の代表者、地域ケアに関する学識経験を有するもの8人以内。

手数料徴収条例の改正

個人番号(マイナンバー)カードの再交付手数料を800円と定め、それに伴い住民基本台帳カードの交付手数料の事項を削除する。

(平成28年1月1日から施行)

問 現在持っている住基カードは使用可能か。

答 使用できる。発行日より10年間は有効。ただし、マイナンバーカードを作成すれば交換となり、失効となる。

栗の子保育園運営法人決まる

篠栗町は、運営法人選考委員会の、書類審査、ヒアリング審査の結果により栗の子保育園の運営法人を社会福祉法人篠栗町社会福祉協議会に決定した。

(平成28年4月1日運営開始)



委員会研修

議会広報広聴委員会視察研修

日時 平成27年10月15日～16日
視察先 鳥取県大山町議会
参加者 議長・議会広報広聴委員会5名
事務局1名

目的 議会広報の取り組みについて
①読んで見たくなる紙面づくり
②住民目線で読みやすい内容づくり他



自然環境・新エネルギー対策特別委員会視察研修

日時 平成27年10月20日～21日
視察先 宮崎県都城市 霧島酒造株式会社（本社焼酎粕リサイクルプラント）
福岡県大牟田市 大牟田リサイクル発電所（RDF発電）

参加者 自然環境・新エネルギー対策特別委員会11名 事務局1名

目的 リサイクルエネルギー利用の現状把握、バイオマス産業都市構想の実現性を考察するための知識習得



文教厚生常任委員会視察研修

- 日時** 平成27年10月26日～27日
視察先 埼玉県越谷市
越谷らるご フリースクールりんごの木
参加者 文教厚生常任委員会委員6名
事務局1名
目的 不登校の子どもたちの学習支援や生活支援等を、子どもの意見を尊重し演奏活動などを実践されてる取組みを視察研修。



総務建設常任委員会視察研修

- 日時** 平成27年10月26日～27日
視察先 埼玉県越谷市 越谷市農業技術センター（越谷いちごタウン）
参加者 議長・総務建設常任委員会4名 事務局1名
目的 観光農園事業構想の実現可能性を考察するための知識習得



議会広報広聴委員会研修

- 日時** 平成27年11月25日
場所 福岡県自治会館
参加者 議会広報広聴委員会6名 事務局1名

『広報アナリスト吉村潔氏の読者とつながる対話型広報へ』と題し、全国の市町村議会広報を参考にした議会広報のコミュニケーション技術の講義

ささぐり議会だよりもクリニックを受け、改善点を指摘頂いた。

12月定例会 補正予算

一般会計補正予算の主な歳入・歳出は表1および表2のとおり。

(表1) 歳出の主なもの

障害児保育事業補助金	1066万円
児童運営費委託料	9217万円
予防事業委託料	438万円
勢門小学校教室改修工事	337万円
後期高齢者医療特別会計繰出金	234万円

(表2) 歳入の主なもの

国庫支出金（保育所運営費負担金）	4624万円
県支出金（保育所運営費負担金）	2312万円
特別交付税	3951万円

各会計補正予算額

会 計	補正額	補正後予算額
一般会計	1億1464万円	97億8017万円
国民健康保険特別会計	6140万円	38億7862万円
後期高齢者医療特別会計	234万円	4億421万円
下水道事業会計	収益的支出	7億8999万円
	資本的支出	4億3749万円

臨時会（平成27年10月23日）補正予算

一般会計予算歳出について、篠栗駅東側自由通路詳細設計業務委託料、篠栗駅北側交通広場詳細設計業務委託料496万円を追加計上するもの。

一般会計補正予算の主な歳入・歳出は表1および表2のとおり。

(表1) 歳出の主なもの

篠栗駅北側交通広場	496万円
-----------	-------

(表2) 歳入の主なもの

国庫支出金	△3558万円
町債（一般公共事業債）	3650万円
普通交付税	404万円

一般会計補正予算額

会 計	補正額	補正後予算額
一般会計	496万円	96億6552万円

議決結果一覧表

	議案番号	議 案 名	議 決 結 果
10月 臨時会	62	平成27年度篠栗町一般会計補正予算（第3号）	出席者全員賛成 可決
	63	篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計設置条例の制定	全員賛成可決
12月 定例会	64	篠栗町課設置条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	65	篠栗町債権管理条例の制定	全員賛成可決
	66	篠栗町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	67	篠栗町税条例等の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	68	篠栗町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	69	篠栗町立栗の子保育園の民営化に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成可決
	70	平成27年度篠栗町一般会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
	71	平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
	72	平成27年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
	73	平成27年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第2号）	全員賛成可決

※10月23日臨時会 古屋議員は入院のため欠席。



10月19日 長崎県新上五島町議会
11月6日 岡山県瀬戸内市議会
11月16日 福岡県筑前町議会

議会視察受け入れ
(タブレット会議システム)

5人が一般質問

5人が一般質問

1. 横山 久義 議員…………… 9
 - ダイフク放置廃棄物、アスベスト混入確認が必要では
2. 荒牧 泰範 議員…………… 10
 - 事業の検証をすべきではないか
 - 幼稚園降園後の利用を可能に
3. 大楠 英志 議員…………… 11
 - 公共施設の耐震・長寿命化・更新計画を問う
4. 山田 眞士 議員…………… 12
 - 中学校卒業まで医療費無料化を
 - マイナンバー、町の対応は
5. 田辺 弘之 議員…………… 13
 - 継続的な「公共施設白書」の改定を

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。



横山 久義

ダイフク放置廃棄物のアスベスト混入確認が必要では

町長「クリーンパークと協議しながらその必要性について検討したい」

3年前、ダイフクがクリーンパーク西側の保管施設に放置した大量の廃棄物に関する質問を行った。

その後、平成26年2月21日の新聞報道で、放置された廃棄物の一部を正式な手続きをせずにダイフクに委託した建設業者に自費で撤去する等の要請をしたことを知った。

県指導の撤去は26年中に完了するとのことであったが、執行部からの報告がないことから下記のとおり質問を行う。

問……………
関係業者による自主撤去の期間は。

答【都市整備課長】

県はダイフクとの処理委託契約の不備や処理状況の確認を怠るなど、法令違反のあった排出業者に対し自主撤去の協力要請を行い、平成26年2月20日から撤去が開始され、翌年3月31日に終了した。

問……………

実際に撤去された廃棄物の量と今なお残っている量について

答【都市整備課長】

廃棄物の量は1万1500㎡で、このうち8300㎡が撤去され、現在土砂混じりの廃棄物3200㎡が建物内でシートに覆われ残存している。

問……………
残った廃棄物にアスベストが含まれていないとは断言できない。

なぜなら、この業者は計画倒産したと考えられるからである。地元を安心させるためアスベストがない証明をする必要があり、有効な調査等を行うべきでは。

答【都市整備課長】

アスベスト使用建築物の解体は規制されており、搬入されることはないとのこと。また、撤去に当たりアスベスト含有製品は確認されていないので町としてもその可能性はないと思っております。

答【町長】

万が一、アスベストがあった場合、心配であったとの指摘があった。現地調査の必要性につ

いてはクリーンパークと協議し検討したい。

問……………

残りの廃棄物の処理や建物の撤去、関係する用地の買い上げ等の検討課題に今後どのような対応を考えているのか。

答【都市整備課長】

廃棄物が放置されていた部分を町へ寄付することで解決したい旨の相談を受けている。申し出を受けた上で、清掃施設組合と連携し廃棄物や建物を撤去したい。

答【町長】

5000万円から6000万円かかる撤去費用を本町で担うことには問題があるかどうかと思う。関係自治体と協議したい。

事業の検証をすべきではないか

町長「セラピーはこれからスタート、自由
通路計画はとめない」



荒牧 泰範

問

町が現在行っている事業が現況に沿っているか検証をしつつ進んで行かなければならない。

例えば、森林セラピー事業は町内在住者の参加率は低く、来町者による宿泊や物品購入が増えたと言う話も耳にしない。

また、篠栗駅東側自由通路も予算が大幅に上がる経過報告があり、かつ規制等でコミュニティ広場的な建設も難しい。

役場庁舎の耐震検査

中間報告では大きく強度が足りず、場合によっては移転も考えられ、役場とのアクセスを考えた通路の位置や形態が投資額に見合うものでなくなる事が考えられる。

一度全事業をじっくり見直す必要が有ると思われるが。

答【町長】

施策・事業については毎年見直しを行なっている。

従業員50人以上の事業所はストレスチェックが義務化され、積極的なメンタルヘルス対策を求められるようになった。従業員がストレスを抱える前の対策に、森林セラピーを取り入れてもらえるよう働きかけを行うところへ、すでに企業向けのパンフレットを作成しており、福岡市内の企業に

配ることとしている。森林セラピー事業も時代の流れに伴いこれらがスタートと考えている。

役場の耐震性が不十分であることは十分承知しており、検討している。出来るだけ速やかに判断し提示する。

跨線橋の建替えは数年間ずっと議会と議論して進めてきた。県を通して国土交通省に概算要求をしている。これをゼロにしていくのは全体的な判断を迫られる。あくまでも町道の付け替えであるので、現在のところ計画をとめる考えは無い。

幼稚園降園後の利用を可能に

教育長「現在のところ難しい」

問

幼稚園降園後の駐車場は、子育ての情報交換などで地域づくりの基礎となっている。

年次により降園時間をずらし駐車場不足を補っているが、近隣の遊休地を借りるなど駐車スペースの拡大を願う。

答【教育長】

現在、周辺の遊休地の借用や駐車スペースの拡大は難しい状況だ。保護者の理解と協力を得ながら改善策を検討する。

公共施設の耐震・長寿命化・更新計画を問う

町長「総合管理計画で方針を定める」



大楠 英志

問 生活を支える社会インフラには上・下水道、道路、橋梁、建築物では、庁舎、小・中学校などがある。橋梁の維持管理の現状と長寿命化計画を尋ねる。

答【町長】 橋梁は169橋ある。平成21年度から5年間でかけて点検を実施し、25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定している。国の道路橋定期点検実施要領に従って26年度から再度点検を実施している。

問 全ての建物やインフラ施設を更新するには約543億円の費用が必要だが、予防保全型管理で長寿命化を図れば350億円で済み193億円の節約になると推計されている。計画的な施設の長寿命化を急ぐべきと考える。

答【都市整備課長】 順次調査をしている。実施は29年度を予定している。

問 庁舎・小中学校など施設の耐震強度不足や老朽化の進行がある。施設の更新計画を尋ねる。

答【町長】 幼稚園、小中学校は耐震化を完了している。庁舎と町民体育館において耐震診断及び補強

設計を行なっている。今後、篠栗町公共施設等総合管理計画に基づき維持管理、更新、用途廃止の方針を定める。

問 庁舎は災害時の司令塔で、機能しないと大変な混乱が生じる。計画を含め、優先的な方策が必要ではないか。

答【町長】 役場の庁舎がすぐ壊れてしまうということではない。新しい耐震制度に対応するには相当の補強を要する。これについては早急に、慎重に考える。

問 補修、更新などの費用が膨らんでいくと考えられる、施設運営の維持管理費、施設の利用コスト等の情報を広報等でわかり易く知ら



町民体育館

せるべきではないか。

答【町長】 具体的な維持管理の方針を検討し、広報等で町民の皆様知らせている。

問 今後のキーワードは近隣の市町村と連携を取りながら、広域行政を推進することではないか。

答【町長】 公共施設の総量は長期的には抑制する方向で、更新・統合・長寿命化を計画的に行なっていく。広域・複合的利用も検討し、最適な配置を実現していく。

諸施設を各市町で建設せず、広域利用や多機能型施設利用を進めるべきだと考えるが。

中学校卒業まで医療費無料化を

町長 「継続的な財源が必要」



山田 眞士

問 福岡県の医療費助成制度が、来年の10月から小学校まで拡充される事が決定した。少子化の進行は一層の人口減少をもたらすし、経済や社会保障に大きな影響を及ぼすと共に、未来を担う子どもたちの健全な成長が懸念される。家庭の経済負担を軽減するために、中学校卒業までの医療費無料化を拡充してはどうか。

答【町長】

小学校までの医療費無料化拡充は決定していない。最終的には、3月の県議会での審議を経て、初めて確定されるもので、引き続き情報収集に努め、どこまで助成できるか提案できるように取り組んでいきたい。

現在、糟屋郡町長会で検討しており、今後、担当課長会で詳細検討する。しかし、一旦、助成を拡充すると、以降は縮小することが困難で、継続的な財源が必要になる。財政面も慎重に検討しながら、糟屋郡の他町と歩調を合わせて決定することになる。

マイナンバー、町の対応は

町長 「不安解消のため、新しい情報を提供していく」

問

マイナンバー制度について尋ねる。

①個人番号カードの申請は、義務か、任意か。

②住民の方々は、情報漏れを非常に心配しております。

また、マイナンバー制度をわかりやすく冊子にするか、広報ささぐりに掲載できないか。

答【町長】

①個人番号カードの申請は任意。

②マイナンバーのセキュリティについて、個人情報とは各機関で分散管理し、番号のやり取りはマイナンバーを直接使わず番号で行うため、芋づる式の情報漏えいを

防ぐものになっていく。

各機関のネットワークは専用回線を使用し、アクセス制限も行われる。

マイナンバー利用には、厳格な本人確認を義務付け、利用者の顔写真付き証明証等で身元確認と、マイナンバーを確認したうえで手続きを行う。

また、個人情報保護委員会が特定個人情報の取扱いに関する監視・監督を行い、プライバシーを守る役割を果たしている。

以上のような対策が講じられているが、皆様の不安軽減・解消のため、新しい情報等は広報・ホームページに掲載していく。

報等は広報・ホームページに掲載していく。



田辺 弘之

継続的な「公共施設白書」の改定を

町長「10年ごとに適宜見直しを行う」

問.....
現在策定中の「篠栗町公共施設等総合計画」について質問です。

①篠栗町において標準的な耐用年数を超える時期に全ての建物やインフラを更新する場合、どのくらいの費用が発生するのか。
②予防保全型管理に切替えて必要な時期に大規模改修を行い、計画的に施設の長寿命化を図った場合、費用はどのくらいかかるのか。

答【財政課長】
①標準的な費用単価を基に算定すると、10年後の2024年までに累計約69億円、40年後の2054年までには約543億円と予想される。

②予防保全型管理で、必要な時期に大規模な改修を行い、計画的に施設の長寿命化を図った場合、10年後までは約73億円かかるが、40年後の費用は約350億円と、更新した場合に比べ約193億円低く予測され、予防型保全管理を中心に実施することが望まれる。

答【上下水道課長】
③10年後までに約51億円、40年後までに約213億円と予測される。

第一浄水場は45年、第二浄水場は39年が経過しているが、維持管理を充実し、長寿命化を行い、耐用年数を70年としたい。
上下水道事業収入は使用料によるものがほとんどなので、大規模改修、更新計画などは慎重に進めてまいりたい。

見直しを行うことを基本とするとともに、上位関係計画や社会情勢の大きな変化、また歳入歳出の状況や制度に変更など、試算の前提条件における変更が生じた場合においても、適宜見直しを行っていく。

問.....
④「公共施設等総合計画」を継続的かつ定期的に改定し、公共施設マネジメントに活用し、維持管理を見直していく予定があるのか。

水道事業などは広域化することによりコストを最小限に止め、継続的な安定供給を目指す動きもあり、多岐にわたる自治体業務を滞らせることのないよう、将来の負担増に向けて、備えと工夫をしっかりとっていく。

問.....
③企業会計による上下水道施設は大規模改修を行った場合、どのくらいの改修費が必要なのか。

答【町長】
④本計画は40年間と設定。10年間の期ごとに



第二浄水場

輝くまちの宝

わだ・あそびの会 (平成27年12月5日開催)

第50回自然体験ふれあい塾 ～小学生のための自然体験ウインター塾2015～
自分の身を守る「防犯カルタ大会」に挑戦！



篠栗町立幼稚園生活発表会



北勢門幼稚園



勢門幼稚園

3月議会は
3/3(木)開会
3/7(月)一般質問
の予定です

炭水化物ダイエットなどが流行していますが、人間に与えられた歯の比率に従い、穀物、野菜、肉を20対8対4で摂取することもバランスの良い生活のヒントになります。
古屋 宏治

人間の歯は、穀物を噛むための臼歯20本、菜類を噛みきるための犬歯4本の合計32本あります。

健康な身体づくりに欠かせないのは、何といてもバランスの良い食生活です。では、バランスの良い食事とはどのようなものでしょう？

旬花衆灯



発行責任者 議長 阿部 寛治 議会広報広聴委員会 委員長 今長谷 武和 / 副委員長 田辺 弘之
委員 松田 國守・村瀬 敬太郎・栗須 信治・古屋 宏治

平成28年2月1日発行

発行 / 篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442 印刷 / 株式会社三光